

JFEトンボみち ファンクラブ通信

2019年 6月号

報告

コシアキトンボを初めて捕獲！ ～トンボとい大作戦2019スタート～

6月8日(土)、今年もJFEトンボみちで「トンボとい大作戦2019」が始まりました。前日の7日から梅雨入りしましたので、トンボといが出来るか心配だったのですが、当日の朝は小雨から曇り空になり、なんとか開催できました。とは言っても、最初はトンボの姿が無く、仕方なく集まったみんなでザリガニ取りから始めました。

そうしている間に、ようやく11時過ぎから晴れ間が見られる様になると、いきなりトンボたちが集まって来て、オオシオカラトンボ、クロスジギンヤンマを続けて捕獲出来ました。



そして、コシアキトンボの雄と雌が盛んに飛び始めました。体全体が黒っぽいのですが、雄は腰のあたりが白く空いているので、コシアキ(腰空き)と呼ばれているそうです。雌はその部分が鮮やかな黄色です。いざ捕まえようとしたのですが、すばしっこく飛ぶので、みんなで追いかけてもぜんぜん捕まりません。それでも雌が産卵しているところを、工藤祥真くん(小5)が捕まえてくれました。JFEトンボみちで初めての捕獲です。さすがトンボとい名人！

この日の最終結果は、つぎのとおりです。

新規捕獲

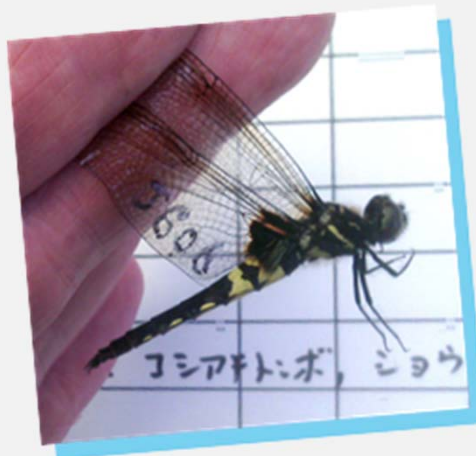
- ・オオシオカラトンボ♂ 2頭
- ・クロスジギンヤンマ♂ 3頭
- ・コシアキトンボ♀ 1頭

再捕獲

- ・オオシオカラトンボ♂ 1頭

目視

- ・ショウジョウトンボ♂



なお、同日のアメリカザリガニの捕獲結果は、合計30匹(大型9匹、中型12匹、小型9匹)でした。まだまだたくさんいますので、根気よく駆除してゆきましょう。(銀)

【ぶらぶらトンボ】 潮田公園のヤゴ観察 ～ 保育園児たちがトンボについて学びました ～

6月4日(火)、鶴見区にある潮田保育園の年長(5～6才)の園児たちにトンボの話をして欲しいとの依頼がありましたので、潮田公園にぶらぶら行ってきました。

集まった園児たち約30人を前にして、潮田公園のフールで見られるであろうと思われる、シオカラトンボとショウジョウトンボの成虫とヤゴを写真で紹介しました。

写真を見せるたびに歓声があがります。ヤゴが水の中で暮らしていることを話すと驚いた様子です。水草に卵を産んでいるギンヤンマと、トンボの一生も紹介しました。

15分ほどの話の後、園児たちは公園のフールに移動して、あらかじめ公園管理の人が捕獲しておいた実際のヤゴを観察しました。初めて見るヤゴにみんな興味津々です。

潮田公園の桐山所長さんによれば、7月のフール開きのための清掃前にヤゴは救出されて、保育園に引き取られたり、JFEトンボみちに放されることになっているそうです。りっぱなトンボになるといいですね!(銀)



写真提供: 潮田公園

【シリーズ】 トンボみちの仲間たち

5月25日(土)のファンクラブ活動の様子です。(撮影: 山田さん)



活動予定 ※雨天は1週間延期
 今月: 6月22日(土) 9時～11時
 来月: 7月27日(土) 8時～10時
 事前の申込みは不要です。誰でも参加可能!
 公式ホームページをご覧ください

トンボみちファンクラブ

JFEトンボみち ファンクラブ通信 2019年6月号
 発行日: 2019年6月19日
 発行者: トンボみちファンクラブ
 連絡先: ファンクラブ代表 柴田 090-4627-8821
 ◆ファンクラブ通信への自由投稿をお待ちしています

※「JFEトンボみち」はJFEエンジニアリング(株)が地域の皆様へ開放している公開緑地です

